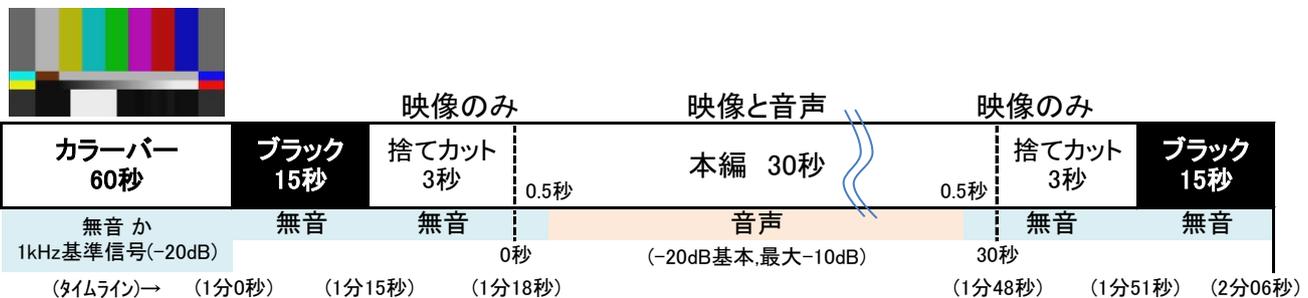


CM作品制作上の注意(制作する生徒は、熟読してください)

テーマは、「『観光』を意識した、千葉県内の場所や特産物などのCM」です。
水辺に限りません。
県外の方に対して、「ここにおいでよ!」というような意識で制作してください。
手法は問いません。
※今大会では、優秀賞を受賞した学校が、
全国大会(総文祭)CM部門への参加権(千葉県代表)を得られます。

VM/AP部門とは性質が異なりますので、注意してください。
(テレビ放映の予定はありませんが、放映規格に合った形での提出になります)

1. CMの本編は30秒です。
2. 音声レベルは-20dBが基本です。最大でも-10dBを超えないようにしてください。
(VM・AP部門よりかなり音声レベルは小さくなりますが、テレビ業界の基準になります)
3. 提出する映像フォーマットは、MPEG-4(H.264コーデック, 拡張子mp4)に限定します。
なるべく高品質のデータファイルをUSBメモリで提出します。
DVD-VIDEO形式での記録はしないでください。
4. 本編の内容や構成は各校の創意ですが、提出する映像の構成は、次の形にしてください。



※「捨てカット」とは、本編に続く、また本編から続く映像で、音声は入れません。
大会発表時は、運営側でカットしますが、放送事故を防ぐために入れておきます。
また、前後0.5秒の無音部分も放送事故を防ぐための措置です。

- ① カラーバー60秒 ……Webにアップロードされたものか、編集ソフトから出力されるカラーバーを入れます。
- ② ブラック15秒 ……Webにアップロードされたものか、編集ソフトから出力されるブラックを入れます。
- ③ 捨てカット3秒 ……本編の最初のカットの3秒前から入れます。(無音です)
- ④ 本編30秒 ……いよいよ本編です。基本的にここが放映されますが、
正確に30秒を取るために前後に捨てカットを入れます。
音声は、本編頭の0.5秒後から入れ、エンドの0.5秒前までに終了してください。
- ⑤ 捨てカット3秒 ……本編の最後のカットの3秒後まで入れます。(無音です)
- ⑥ ブラック15秒 ……Webにアップロードされたものか、編集ソフトから出力されるブラックを入れます。

<その他、注意>

- ・テロップ(字幕スーパー)は、画面全体の85%以内(タイトルセーフエリア内)に入れましょう。
- ・本大会の作品(VM・AP部門含む)が、ケーブルテレビ等で放映されることがありますので、
著作権・肖像権については特に注意してください。
出演者がいる場合は、肖像権が発生しますので、了承を得てください。
使用する音源は、著作権フリーまたはオリジナルの物など、著作権をクリアしたものを使用してください。
(JASRAC申請が必要なものは使わない)

<総文祭事前情報> ※8月の理事会(全国代表者会議)で示された情報です。今後、変更されるかもしれません。

来年の総文祭(長野大会)では、CM部門が特設されます。
今回制作した作品を提出するのではなく、長野県より提示される新たな題材でCMを制作します。
CMの題材は、事前に長野県より示されたリストの中から第1希望～第3希望まで選び、2月までにエントリー。
抽選により3月末頃にCMの題材が決定します。4月以降に長野県のCM担当者と打合せをしたり、素材を提供してもらったり・・・
大会前に構成をしっかりと考えておきます。下編集をしても構いません。テストパターンが事前に提供されます。
8月の総文祭期間中に現地で取材をして、その素材を10秒以上取り入れ、編集します。(編集機材を持っていく必要があります)
8月10日(大会2日目)12:00までに会場のWifiを使い、YouTubeの指定されたアカウントでアップロード(非公開設定)して提出です。